

参加者の皆様へ

平成28年7月7日

秋高連

記 三平 俊悦

秋高連第5回「ふるさと訪問」報告

ふるさと訪問に11校総勢33名（大農高5名、角館高8名、横手高3名、大曲工2名、雄物川高2名、秋田工7名、秋田商2名、秋田中央1名、秋田南1名、秋田高1名、能代工1名）が参加しました。2日間は好天に恵まれまして、スケジュール通り訪問見学が無事に終了することができました。参加者並びに関係者にお礼と感謝申し上げます。

- ① 大仙市を訪問し、久米正雄副市長から説明していただき、人口が毎年約1,000人減少してる、対応に流動人口を増やすために、四季を通して花火大会や来年4月24～29日に、国際花火シンポジウムを開催して、「見て来て買ってもらう」力強く話していました。リオオリンピックにマラソン1名・カヌー2名大仙市出身出場します。応援をお願いされました。
- ② 農業科学館で地元の農家（大和田さん）で採れた食材弁当を昼食しました。質と量に満足でした。各国のばらが満開でした。本館において試験栽培中の「たつこ姫」の中心部分がクリームがかかった色で花びらは紅色が咲いていました。話題になり、人気が出ると良いですね。
- ③ 大曲農業高校訪問し、永井 元教頭先生から説明を受けました。
さすが伝統校・高い農業技術習得育成を目指す、文科省のスーパープロフェッショナルハイスクールに県内で初めて選ばれた。生徒が作ったぶどう生ジュースをお土産にいただきました。大変美味しかったです。感謝・感謝
- ④ 秀吉酒造訪問・鈴木社長が自ら説明と酒屋唄を歌い歓迎していただき、石田三成が献上した。甲冑などが展示しておりました。各種の酒を試飲してほろ酔いとなりながら、酒などを買い上げた。
- ⑤ バスの中で高橋和美さん（横手高）から美郷町の歴史や見どころ等を説明していただきました。ラベンダー園では、商工観光交流課の山田主任が案内してくれました。2万株を超えるラベンダーが鮮やかに色づき満開となり、ホワイトラベンダーと紫色とのコントラストが鮮やかと甘い香りが漂っていました。ホワイトラベンダーは「美郷雪華」美郷町ラベンダー園で発見された品種です。商工課より全員に「ニテコサイダー」をお土産いただきました。真昼岳が雲に隠れてラベンダーとコラボ写真撮れなく残念でした。
- ⑥ 坂本東嶽邸を見学しました。東嶽の村づくりの基礎を築いた。村づくりの先覚者として、注目が寄せられている。明治29年の奥羽地震は真昼山地付近震源とす

る (M7.2) 地震が発生し、甚大な被害を被った。千屋断層は東嶽邸の北東に中小森露頭と赤倉川露頭があり、断層保存対象地域となり、県・国の天然記念物の指定を受けている。

- ⑦ 大清水（おおしず）土崎地区で一番の湧水量が誇る清水、多様な生物が生息する
- ⑧ 花葉館に宿泊・温泉に浸り疲れを癒して、7時から宴会を始めて岸本会長（秋商）の挨拶・中山文夫さん（角館高）の乾杯で懇親会に入りました。全員からのスピーチと酒を飲み放題・カラオケなどで大いに盛り上がり各学校と交流と親睦が深まりました。最後に各学校が校歌斉唱し、全員で秋田県民歌を歌いお開きとなりました。その後それぞれの部屋で2次会をしたようです。
- ⑨ 角館高校訪問した際に、門脇光浩・仙北市長が見えられて、仙北市の説明していただきました。合併して10年となり、国家戦略特区・地方創生特区政令指定となりました。秋田県では、観光資源（武家屋敷・田沢湖・乳頭温泉など）に恵まれた地域を感じました。ドロー特区生かし、ドローレースアジアカップ開催が決定（7月29日～31日）しています。話題のドロー見たいものですね。
教頭先生が校内を案内していただきました。角館・角館南が統合し、角館高校をスーパーリニアールして、秋田杉を造作に使い木の温もり感じ、新築同様の学校でした。授業は生徒が熱心に勉強していた。校歌は「若杉」「駒草」7番となり覚えるのが大変かな？屋内運動場が新築され、天井が高く広く冬の練習十分と思います。甲子園出場目指せるかな？
- ⑩ 中山文夫さんの友人河原田さんが角館の案内していただきました。武家屋敷・石黒家当主が自ら案内をしていただきました。武士が住み暮らしていた様子が良くわかりました。角館樺細工伝承館から河原田家を河原田さんが詳しく説明していただき、私は「こけ庭」の静けさが感動しました。
- ⑪ 彫刻家の佐藤励（れい37歳）さんは大曲工業機械科卒業し奈良芸術短期大学を卒業後帰郷して、実家の「角館きがた」祭りの人形作りや看板製作を手掛け塑像製作で培った技術を生かし、地元で伝わる工芸技術を生かした製品開発に力を注いでいる。アトリエで説明していただきました。今後の活躍を期待しております。
- ⑫ 予定通り3時に角館駅において、解散しました。この度の「ふるさと訪問」に今まで一番多く参加していただきました。ありがとうございました。「秋田県は人口減少・少子高齢化など様々な問題を抱えておりますが各市町が地域の特色をいかして、観光などで流動化人口を増やす自助努力を感じました。少子化傾向による生徒の減少に伴う学校の統廃合、若い世代の同窓会離れや帰属意識が薄れ高齢化などで、同窓会運営に立ちはだかってくるだろうと予想されます。秋高連としても、皆様方と垣根を超えて協力しあって相談される場として、一層強く求められると思います。活性化に努めてまいりますのでよろしくご協力お願いします。
- ⑬ 来年は、大館桂・大館高・大館工業・三校が統合しましたので、大館方面に「ふ

るさと訪問」を検討します。皆さんとまたの再会を念じております。

以上